

# 日本赤十字社和歌山医療センター 医療連携だより

秋号  
No. 79



和歌山医療センター

和歌山市小松原通四丁目20番地

TEL: 0120-965-582 (医療連携課)

FAX: 0120-937-510 (医療連携課)

(発行責任者)

副院長 兼 管理局长 山下 幸孝

e-mail: renkei@wakayama-med.jrc.or.jp



## 当センターにおけるCOVID-19 第5波の現状と治療

医療連携総合支援センター長・高度救命救急センター長 中 大 輔

日頃から数多くの症例を御紹介頂きまして誠に有難うございます。

医療連携だより夏号では、2020年2月の第1波から2021年6月までの第4波までの当センターにおけるCOVID-19への対応と現状について報告しました。今回はその続報として、2021年7月から爆発的に感染拡大したデルタ株による第5波の現状について報告し、現在、日赤和歌山医療センターで行われているCOVID-19に対する治療法について紹介します。

和歌山県では2021年7月中旬から新規陽性患者が一気に増え始め、9月末までの約2か月半の間、各医療機関はデルタ株を中心とした第5波を経験することになりました。当センターでも7月1日に初めてのデルタ株陽性患者の入院があり、9月30日までに195名もの新規陽性患者の治療にあたりました。

和歌山県もCOVID-19専用病床を数多く確保していましたが、8月26日には県全体で入院患者が562名を数え、病床利用率は96.5%にまで達しました。当センターも以前から集中治療室3床、南館2階病棟37床（うち8床はHCU病床）、本館8階産婦人科病棟3床、NICU1床の44床を専用病床として用意していましたが、県からの増床要請に応じ、8月20日からは南館2階病棟を37床から53床に増床し、計60床の専用病床で多くの入院患者に対応しました。

現在、当センターは、古宮伸洋感染症内科部長を筆頭とする4名の感染症内科専門医が中心となり、COVID-19の治療にあたっています。ご存じのようにCOVID-19に対する治療薬は何種類かが承認されていますが、当センターでは抗炎症薬と

してステロイドであるデキサメタゾン（デカドロン）、またヤヌスキナーゼ（JAK）阻害薬であるバリシチニブ（オルミエント）を使用しています。デキサメタゾンは酸素投与が必要な中等症以上の症例に広く使用し、バリシチニブは重症肺炎を惹起している重症例に投与することが多いです。抗ウイルス薬としてはレムデシビル（ベクルリー）の使用頻度が多くなっています。発症1週間以内、腎機能正常、酸素投与が必要な中等症以上の症例を対象として投与しています。2021年8月から、最新の抗体カクテル療法であるカシリビマブ・イムデビマブ（ロナプリーブ）投与も積極的におこなわれています。発症から5-7日以内の基礎疾患を有する50歳以上の軽症症例を対象に投与しています。原則、ワクチン未接種の方が対象となりますが、免疫不全を有するような症例には、ワクチン接種の有無に関わらず使用する場合があります。すでに30例以上の症例に使用しましたが、全例、状態が悪化することなく軽症で退院しています。

先日、厚生労働省からCOVID-19に対するワクチンのブースター接種に関する指針が示されました。その必要性に関してはまだまだ議論のあるところですが、2回目のワクチン接種終了後、8か月以上経過した人が自動的にブースター接種の対象となるようです。

COVID-19の収束には今しばらく時間を要すると思いますが、職員一同、このまま院内感染を引き起こすことなく、COVID-19治療と救急医療、高度医療を継続できるように全力を尽くす所存です。

一層の御指導と御鞭撻を何とぞよろしくお願い申し上げます。





## 骨粗鬆連携 当センターの取り組みについて

整形外科部長 玉置 康之

高齢化社会の急速な進行とともに、高齢者骨折は加速度的に増加しています。この骨粗鬆症による脆弱性骨折は、わずかな外力で生じる骨折であり、生活機能を一瞬にして奪い、生命予後にも影響する重大な疾患です。一度骨折が起こると次の骨折が生じるリスクは極めて高くなるため骨粗鬆症治療は非常に重要です。しかし実際には骨折治療は行っても、骨粗鬆症治療は後回しになっていることが散見されます。また和歌山県の骨粗鬆症検診率は全国都道府県でワースト2であり（公益財団法人骨粗鬆症財団、2018）、和歌山県民は骨粗鬆症に対する意識が非常に低いと言えます。

これらのことから、我々は骨折連鎖を防止するために、医師だけでなく多職種でチームを結成し、骨粗鬆症治療を行う取り組みを令和3年1月から開始しています（図1）。対象は入院手術を行った脆弱性骨折の患者様です。入院中に可能な限り骨粗鬆症薬の開始、骨密度（DXA）測定、転倒予防指導、栄養指導などを行っております。退院・

転院後も骨粗鬆症薬を継続する必要があります。しかし当センターで完結することは困難であり、地域の医療機関の先生方に骨粗鬆症治療継続の依頼をさせていただいております。地域で骨粗鬆症治療を推進するためには医療連携は非常に重要であると考えております。お手数をおかけしますが、ご協力よろしく御願い致します。



図1 当センターの骨粗鬆連携チーム

### 令和3年度診療科別合同セミナー・講演会実施一覧

当センターでは、各種講演会を実施しております。  
開催時には、随時ご案内しますので是非ご参加下さい。

日時	診療科	会合・講演会名	場所	参加人数 (合計)
7月2日(金)	呼吸器内科 呼吸器外科 放射線治療科	肺癌診療 Network Meeting	Web 配信	36名
7月15日(木)	整形外科 リハビリテーション科	令和3年度第1回大腿骨頸部・転子部 骨折地域連携パス合同カンファレンス	Web 配信	68名
8月26日(木)	循環器内科	第3回和歌山 Heart Failure coference	Web 配信	77名
9月2日(木)	呼吸器内科	呼吸器疾患カンファレンス	Web 配信	25名
9月29日(水)	消化器内科	消化器疾患懇話会	Web 配信	53名
9月30日(木)	循環器内科	Cardiovascular diseases Summit	Web 配信	32名





## がんセンター通信 ③

第一消化管外科部長 兼  
がんセンター副センター長

山下 好人



2021年1月12日、当センター内のがんセンターが開設され、約9か月が経過しました。開設当初は診療体制の変更に伴う混乱が一部にみられましたが、病院を挙げて対応するとともに患者さんや連携医療機関の皆様のご理解も深まったことで、現在ではスムーズな診療が行えるようになっていきます。

当がんセンターの最大の特徴は、診療科の垣根を超えた「臓器別がんユニット」による診療体制です。このユニットには食道・胃がんユニットをはじめ、14の臓器別がんユニットが存在します。各ユニットではがん診療のエキスパートが診療科の枠を超えて臓器別に結集し、密な連携を取り合っ

て患者さんにとって最良の治療方針の決定を迅速にかつ適切に行っています。私が所属する食道・胃がんユニットは消化器内科医、消化管外科医、放射線治療科医、腫瘍内科医から構成されるチームです。今回は、「がんセンター開設により良くなったこと」について食道・胃がんユニットから報告させていただきます。

1. 消化器内科医と消化管外科医は毎日、がんセンター内の隣接する診察室で診療を行っており、放射線治療科医、腫瘍内科医もがんセンター内で診療を行っているため、非常に相談がしやすくなりました。
2. すべての症例を電子カルテ内の台帳（患者登録ファイル）に登録してユニット内のメンバー全員が情報共有できるようなシステムを構築したことで、早い時期からメンバー全員で治療方針を相談し合えるようになりました。
3. 台帳を利用したディスカッションで治療方針、必要な治療前検査などに関して共通認識を持てるようになり、若手の教育にも役立っています。
4. 進行胃がんに対しては今までよりも早く手術ができるようになり、患者さんからも喜ばれています。

今後も、医療連携の先生方のご協力を頂きながら、このがんセンターをさらに発展させていきたいと思いますので、今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

### 退職のお知らせ

8月31日付

歯科口腔外科 **奥村 なつみ** (歯科医師)

9月30日付

循環器内科 **木村 友哉** (専攻医)

循環器内科 **滋野 稜** (専攻医)

第一消化器内科 **外村 晃平** (専攻医)

第一消化器内科 **塙 悠佑** (専攻医)

第一消化器内科 **松山 和輝** (専攻医)

第一消化器内科 **佃 頌敏** (専攻医)

第一消化器内科 **長尾 宗一郎** (専攻医)

第一消化器内科 **藤本 裕大** (専攻医)

糖尿病・内分泌科 **小杉 大輔** (専攻医)

第一救急科 **稲田 麻衣子** (専攻医)

上記の職員が退職いたしました。  
大変お世話になりました。

### 就任のお知らせ

8月1日付

産婦人科 **山本 美紗子** (専攻医)

9月1日付

歯科口腔外科 **湯田 洋子** (歯科医師)

10月1日付

循環器内科 **柴森 裕一郎** (専攻医)

第一消化器内科 **筑後 英紀** (専攻医)

第一消化器内科 **大沢 一希** (専攻医)

第一消化器内科 **紙屋 熙紀** (専攻医)

第一消化器内科 **下山 雅之** (専攻医)

第一消化器内科 **森村 博樹** (専攻医)

腎臓内科 **観アフェイス** (専攻医)

放射線診断科 **中村 悠理** (専攻医)

上記の職員が新たに就任いたしました。  
よろしくお祈りします。



# 紹介初診患者診察担当医師表

2021年10月1日現在

ユニット名 / 診療科名		月	火	水	木	金	
がんセンター	食道・胃・大腸ユニット	消化内	副部長 瀬田 剛史	副部長 赤松 拓司	副部長 岩上 裕吉	副部長 中谷 泰樹	副部長 赤松 拓司
	食道・胃ユニット	外科	副部長 辰林 太一	副部長 奥村 公一	副部長 宮本 匠	部長 山下 好人	《交替制》
	大腸ユニット	外科	副部長 山田 真規	副部長 細川 慎一	副部長 横山 智至	《交替制》	部長 伊東 大輔
	肝胆膵ユニット	消化内	副院長 山下 幸孝	部長 上野山 義人	副部長 瀬田 剛史	副院長 山下 幸孝	部長 上野山 義人
		外科	—	—	—	副部長 川添 准矢	部長 安近 健太郎
	肺ユニット	呼内	部長 杉田 孝和	副部長 堀川 禎夫	河内 寛明	部長 池上 達義	副部長 寺下 聡
		呼外	—	部長 石川 将史	—	—	部長 石川 将史
	※乳腺ユニット	乳外	副部長 鳥井 雅彦	—	部長 松谷 泰男	副部長 鳥井 雅彦	部長 松谷 泰男
	前立腺・尿路ユニット	泌尿	部長 玉置 雅弘	部長 伊藤 哲之	—	部長 玉置 雅弘	部長 伊藤 哲之
	※骨ユニット(午後)	整形	—	—	部長 玉置 康之	—	—
	脳ユニット	脳外	部長 津浦 光晴	—	—	—	—
	血液ユニット	血内	副部長 田中 康博	部長 直川 匡晴	副部長 岡 智子	副部長 田中 康博	田村 啓人
	※原発不明ユニット	腫内	—	—	—	川上 尚人	—
	※遺伝性腫瘍ユニット	—	—	—	副部長 豊嶋 彰(午後)	川上 尚人	—
※放射線治療科	放治	副部長 小倉 健吾	部長 根来 慶春	院長 平岡 眞寛	部長 根来 慶春	副部長 小倉 健吾	
※緩和ケア内科(午後)	緩和	部長 一宮 正人	吉村 聖子	筒井 一成	筒井 一成	今泉 澄人	
消化器内科	消化内	副院長 山下 幸孝 副部長 浦井 俊二 副部長 瀬田 剛史 松本 久和 枝川 剛也	部長 上野山 義人 副部長 赤松 拓司 副部長 中谷 泰樹 中野 省吾 筑後 英紀	副部長 瀬田 剛史 副部長 岩上 裕吉 梅村 壮一郎 森村 博樹 下山 雅之	副院長 山下 幸孝 副部長 浦井 俊二 副部長 中谷 泰樹 重里 徳子 綿田 馨	部長 上野山 義人 副部長 赤松 拓司 松本 久和 小西 隆文 荻野 真也 寺下 友子	
	外科	野間 淳之	部長 宇山 志朗 川人 章史	副部長 一宮 正人	部長 宇山 志朗	青山 諒平	
呼吸器内科	呼吸内	副部長 渡邊 創	副部長 堀川 禎夫 (睡眠時無呼吸専門外来)	河内 寛明	部長 池上 達義	副部長 寺下 聡	
呼吸器外科	呼吸外	—	部長 石川 将史	副部長 福井 哲矢	—	部長 石川 将史	
循環器内科	循環内	部長 豊福 守 副部長 花澤 康司	副部長 田崎 淳一 《末梢血管外来》	副部長 渡辺 大基 伊勢田 高寛 辻 修平 《末梢血管外来》	辰島 正二郎	藤田 啓誠	
	糖尿病・内分泌内科	副院長 井上 元	廣島 知直	副部長 稲葉 秀文	廣島 知直	副院長 井上 元	
腎臓内科	腎臓内	副部長 嘉藤 光歩 山崎 瑞歩	部長 東 義人 嘉藤 光歩	副部長 杉谷 盛太 小緑 翔太	部長 東 義人 前沢 浩司 市岡 光洋	副部長 杉谷 盛太 大森 翔平	
	※心療内科	副部長 今泉 澄人	—	副部長 今泉 澄人	—	副部長 今泉 澄人	
※リウマチ科	秋月 修治(第1・2・4・5)	岡本 翔太	船越 莊平 納田 安隆	—	—	—	
感染症内科	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》	《交替制》	
※脳神経内科	部長 山下 博史 孝橋 睦生 山中 治郎(隔週) 河村 祐貴(隔週)	副部長 神辺 大輔 三川 夏子	部長 山下 博史 大原 寛明	—	平岡 眞也 木下 久徳	副部長 神辺 大輔 松本 瑞樹(隔週) 和田 一孝(隔週)	
	※漢方内科	—	—	部長 山田 伸	—	—	
皮膚科	《交替制》	奥平 尚子	《交替制》	大橋 理加	部長 辻岡 馨		
小児科	副部長 濱畑 啓悟 副部長 杉峰 啓憲	副院長 吉田 晃 副部長 深尾 大輔	副部長 原 茂登 副部長 横山 宏司	副部長 濱畑 啓悟 副部長 杉峰 啓憲 古宮 圭	副院長 吉田 晃 副部長 横山 宏司		
	※精神科	部長 東 睦広	—	—	部長 東 睦広	—	
心臓血管外科	名誉院長 小西 裕 部長 金光 尚樹	—	部長 金光 尚樹 (静脈瘤外来)	—	—		
小児外科	—	副部長 堀池 正樹	副部長 横山 智至	副部長 堀池 正樹	—		
整形外科	部長 玉置 康之 副部長 田中 慶尚 畑田 良輔	副部長 田中 康之 小椋 隆宏 伊藤 貴之	副部長 田中 慶尚 古川 剛 伊藤 貴之	部長 玉置 康之 小椋 隆宏	副部長 田中 康之 古川 剛 畑田 良輔		
	眼科	部長 荻野 顕 《交替制》	副部長 三木 敬耶	部長 荻野 顕 川島 京子	副部長 黒田 健一	川島 祐	
耳鼻咽喉科	部長 三浦 誠	《交替制》	部長 三浦 誠	副部長 木村 俊哉	副部長 辻村 隆司		
産婦人科	副部長 山科 省吾(第1・3・5) 副部長 山西 優紀夫(第2・4)	副部長 豊嶋 彰(第1・3・5) 日野 庶世(第2・4)	平山 貴裕(第1・3・5) 春日 麻耶(第2・4)	副部長 坂田 祥典(第1・3・5) 副部長 横山 洋子(第2・4)	部長 吉田 隆昭		
	泌尿器科	部長 玉置 雅弘 副部長 中嶋 正和 樋上 健介	副部長 伊藤 哲之 副部長 中嶋 正和 太田 秀人	—	部長 玉置 雅弘 山田 祐也 樋上 健介	部長 伊藤 哲之 山田 祐也 樋上 健介	
歯科口腔外科	—	副部長 清水 航治	部長 平石 幸裕 佐武 明日香	副部長 清水 航治	部長 平石 幸裕		
脳神経外科	《交替制》	副部長 武本 英樹	《交替制》	部長 津浦 光晴 (脳血管内治療専門外来)	—		
※麻酔科	—	副部長 吉村 聖子	副部長 宮崎 里紗	—	副部長 片岩 真依子		
形成外科	石川 弦太 《小児形成外科外来》	—	中林 容	石川 弦太	部長 奥村 慶之		
神経救急部	—	—	—	部長 中 大輔	—		

赤字…女医 ※…完全予約制